

2024年12月15日

「平和に導く方」

ルカによる福音書 1:67-79

早川 真牧師

ザカリアという名前の意味は、「神に覚えられた者」という意味です。ザカリアはかつて子供が与えられることを必死に神に祈っていました。しかし叶えられないまま多くの年月が経ってしまいました。しかしたとえザカリアが年を取り、神に祈ったことを忘れていたとしても、神は忘れておられません。ザカリアは神の救いの御業に用いられる幼子を授かると聞いた時、あまりにそれがあり得ないことに思われたので、信じることができませんでした。あり得ないと感じるほどに、神の愛は大きかったのです。

そして今朝ここに集った私たちにもそれは当てはまります。神はイスラエルの民だけでなく、私たちにも、神の愛によって救いをもたらしてくださっているからです。それは、罪の赦しという救いです。私たちも神の愛が望む時、その事柄の大きさを受け止めきれずに、信じることができないということがあります。しかし、この愛によって、私たちは平和へと導かれます。

イエス・キリストは私たちのために、血を流してくださいました。その方を見上げることによって、血を流さない道へと私たちは導かれます。「全ての人のために、キリストがその尊い血を流してくださったんだから、もう血を流すのは止めよう。」と一人一人が平和の道に導かれていくことが、神の切なる願いです。たとえ私たちが神に祈って忘れていたとしても、神は決して忘れません。私たちを平和に導く方、イエス・キリストを通して、私たちもまた、「神に覚えられた者」です。この主にある平安のもとに、喜びのクリスマスを迎えたいと思います。